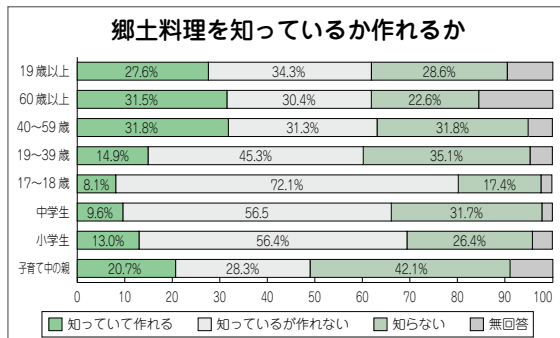


地域

食文化と地域活動

家庭や地域の「味の記憶」を伝えていくことも、次世代へつなげる食育です！
地域の中での活動を通じて、郷土料理を知っている人や、つくることができる人を増やします。



平成23年度篠山市いずみ会活動実績

内容	回数	人数
親子の食育活動	8回	269人
男性の料理教室	10回	145人
高齢者の食育活動	66回	1,683人
食育推進事業	41回	1,163人
地域の行事への参加	63回	6,903人
計	188回	10,163人

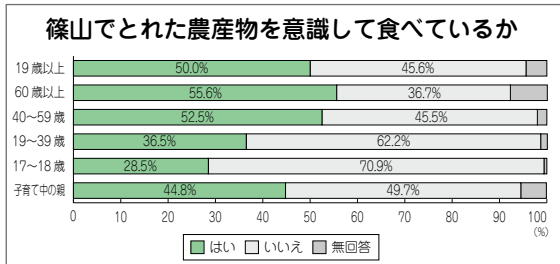
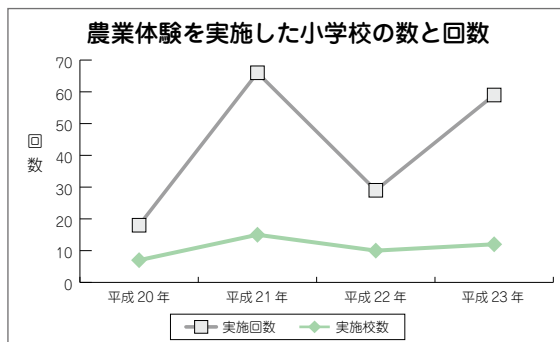
平成24年度篠山市いずみ会総会資料より

会員募集!

いずみ会は「食生活改善推進員」として、地域の中で食育活動を行う地区組織の一つです。地区ごとに活動グループがあり、いつでも会員になることができます！
「私たちの健康は私たちの手で！」を合言葉に、一緒に活動してみませんか？

農産物

地産地消



地産地消は、豊かな食育の原点です。
「ささやま旬の野菜レシピ」で市民の皆さんへ新鮮な旬の食材のおいしい食べ方をご紹介します！！
※詳しくは篠山市のホームページをご覧ください。

農業体験を通じて子どもたちに食べ物や生産者への感謝や理解を育みます。農業体験をした児童を増やすことを目標とします！



もっと広がるもっとつながる

第2次 篠山市 食育 推進計画

～概要版～

食べることは私たちが生きていくために欠かせない大切なものであり、健全な食生活は健康で豊かな人生を送るための基本となるものです。

篠山市には、丹波篠山黒大豆、丹波篠山山の芋、丹波栗等の全国ブランドの農産物、美しい街並みと景観、豊かな自然環境や食文化など、たくさんの宝物があります。

平成19年度には食育に関する総合的な計画として「篠山市食育推進計画」を策定し、市民の皆さんや関係団体等のご支援、ご協力を得ながら、食と農の都・篠山にふさわしい食育推進事業に取り組んできました。

このたび、今後更なる食育の実践につなげるために「第2次篠山市食育推進計画」を策定しました。

本計画は、これまでの取り組みの成果や達成状況を踏まえ、口腔の健康づくりを新たな食育の視点に加え、学校、地域などで食にかかわる関係機関・団体等との連携により食育を市民運動として展開するものです。このことにより市民の皆さん一人一人が心身ともに健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。(計画書「はじめに」より一部抜粋)



篠山市長 酒井 隆明

◆「食育」って、ご存じですか？◆

「食育という言葉を知っている人」の割合は、19歳以上では84.8%です。しかし、言葉を知っている人の中で意味は知らないと答えた人が30.4%あります。また「食育に関心を持っている人」の割合は、「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えた人が、19歳以上では58.8%と過半数を超えています。本計画では、市民一人ひとりが食育の重要性を認識し、食に関する正しい知識と選択する力を持つことを目指して、平成29年度までに食育に関心を持っている人の割合を70%まで増やします！



環境づくり ～もっと広がる もっとつながる 食育～

「食べること」は「生きること」。食育は一人ひとりが「自分の食」について振り返り、毎日の生活の中で意識して取り組むことから始まります…。

*** 覚えておこう! ***

食育の日 毎月19日

食育月間 毎年6月

ひょうご食育月間 毎年10月

～ 本計画期間は平成25年度から平成29年度の5年間です。～

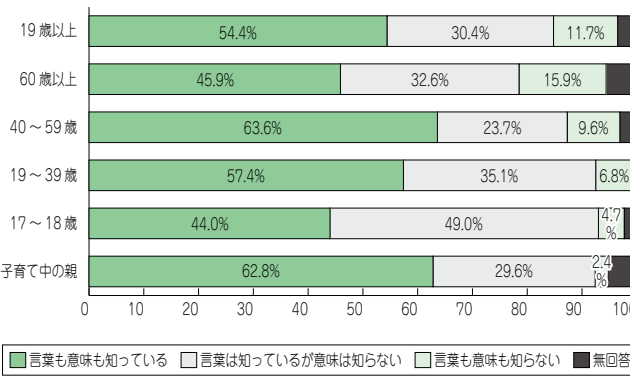
第2次篠山市食育推進計画(概要版)

発行・編集：兵庫県篠山市 保健福祉部健康課

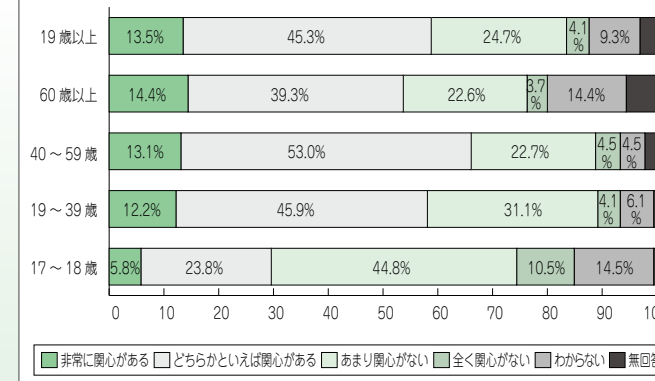
〒669-2205 兵庫県篠山市網掛301 TEL 079-594-1117 FAX 079-590-1118



食育という言葉や意味を知っているか



食育に関心があるか





篠山市の食育推進計画は、次の基本理念のもと「家庭」「保育園・幼稚園・学校」「地域」「農産物」「環境づくり」を5本柱に、さまざまな機関と連携し(つながる)、市民の皆さんと一緒に推進して(広がる)いきます。

計画の基本理念と基本方針

基本理念

ささやまの豊かな自然から育まれた心とからだを大切に、生きる基本となる“食”から始まるまちづくりを目指す

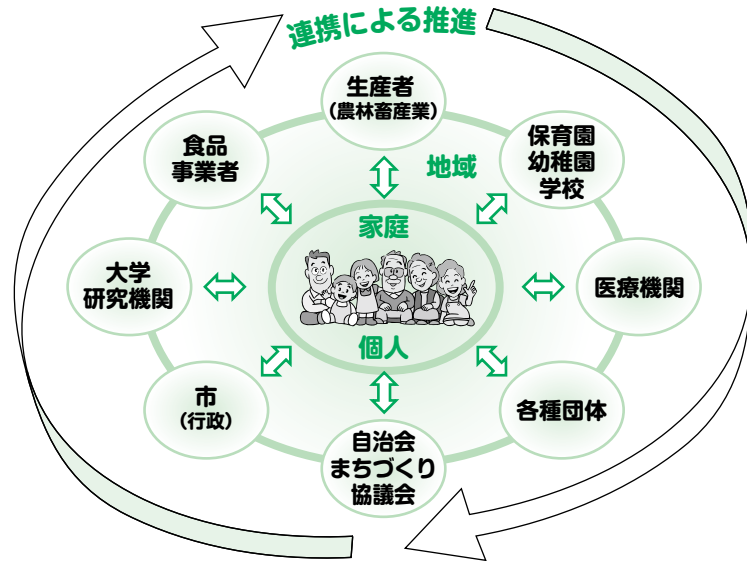
基本方針

1. 子どもから大人まで、市民一人ひとりが「食」を楽しみ、健全な食生活を実践する。
2. 篠山の自然の恵みと地域のつながりを大切にし、安心安全の食生活を実践する。
3. 篠山の伝統的な食文化を継承する。

計画の方向性

1. 家庭における食育の推進
2. 保育園、幼稚園、学校における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 篠山の豊かな農産物の活用の推進
5. 食育を進めるための環境づくりの推進

もっと広がる



もっとつながる

◆「食育」とは…◆

私たちの心もからだも「食」の上に成り立っています。その「食」を自分自身で管理する力を身につける取り組みが「食育」です。

食育基本法の前文では、「食育」を次のように説明しています。

- 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

篠山市の食育体系図



食べ物の持つ多様な側面に気付く

わたしたちと食べ物

食べ物にはげんきのもとがいっぱい

いただきます! ありがとうございます! ごちそうさま!

みんなげんき

食の入り口 歯・口の健康

食べ物で 私たちのからだはできている

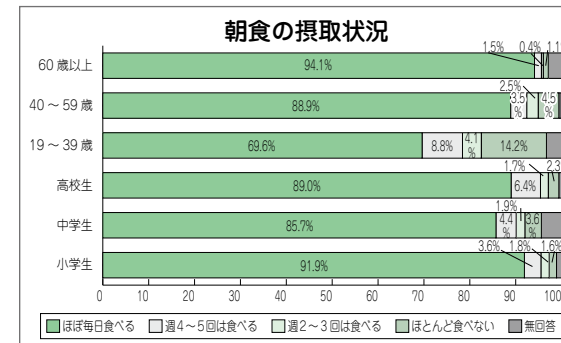
選んで食べて げんきながら

かしこく選んで、おいしく、楽しく、心とからだを育む

～ 篠山市の現状・課題と目標 ～

家庭

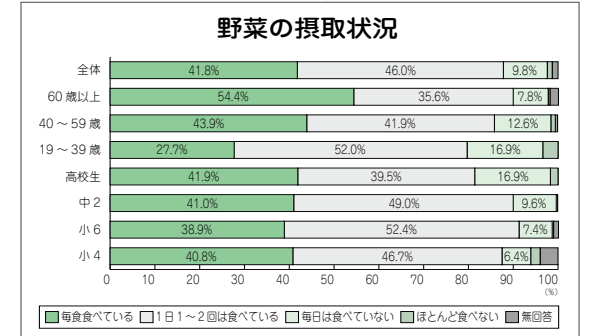
朝食と野菜摂取



平成24年度 篠山市食育と健康についてのアンケート

19～39歳の朝食摂取の割合が低くなっています。子どものころからの生活習慣が次の年代に影響を与えます。まずは、朝食を食べる子どもの割合100%を目指します!

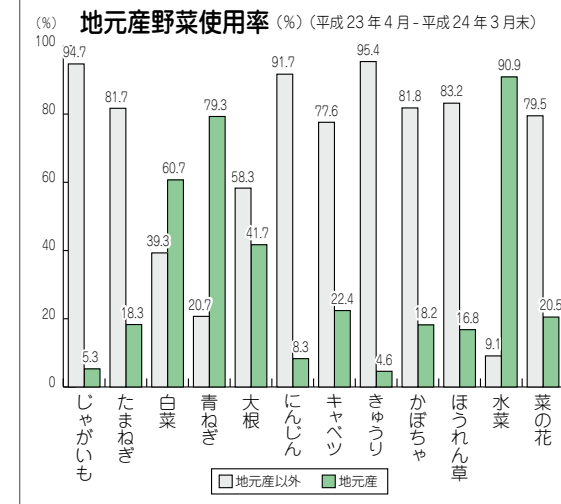
20～30代の若者や40～50代の男性の野菜摂取が低くなっています。野菜の摂取は、生活習慣病予防にも重要です!!毎食野菜を取っている人の割合を増やしていきます!(目標値:青年期で40%が摂取)



平成24年度 篠山市食育と健康についてのアンケート

保育園・幼稚園・学校

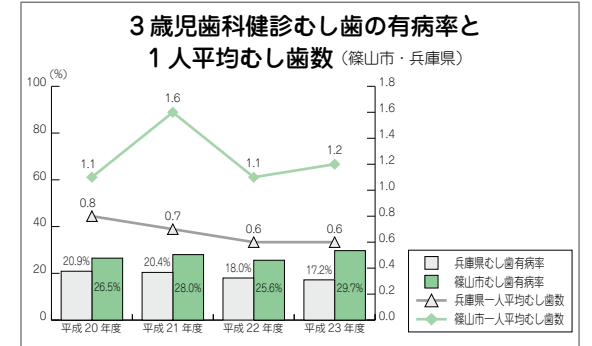
地元野菜とおくちの健康



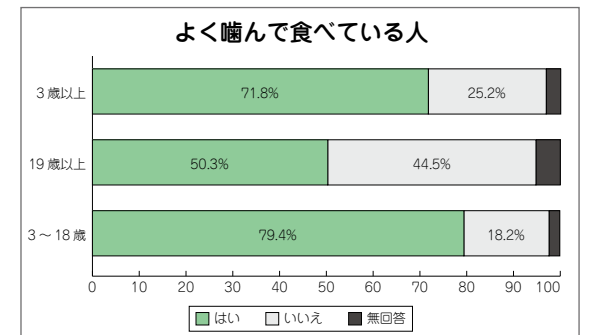
平成23年度 東部・西部給食センター地元野菜納入実績(共通品目)

子どものころから、地元の特産物を見たり触れたりする機会を増やすことで、子どもたちの食への関心を高めます! 農業体験実習に取り組んだり、学校給食における地元野菜の使用品目を増やすことを目標とします! また、学校給食のメニューとして、篠山の特産を使った「ふるさと献立」やしっかりとかむ習慣を身につけるために「カムカム献立」の回数を増やします。

幼児期・学童期は「よくかむ」「歯磨き」などの生活習慣を身につける大切な時期です! 年齢に合わせた歯科保健教室を実施していきます。(目標値:全校で年1回以上の実施)



3歳児歯科検診結果調査



平成24年度 篠山市食育と健康についてのアンケート